

# 京柔整會報

新年号 機関誌 174号



新年のご挨拶

役員・顧問一同

行事報告

京都府補助金事業・近畿学会兵庫大会 etc

救護報告

第37回市民スポーツフェスティバル・松谷杯柔道大会 etc

地域活動

北・上京会総会 懇親会

公益社団法人 京都府柔道整復師会

令和8年1月20日





柔道整復師を目指そう

活躍できる

医療・スポーツ・福祉業界で

## 柔道整復科 3年制

午前集中コース  
柔整スポーツコース

### 目指す資格 ▶ 柔道整復師（国家資格）

柔道整復師は骨折、脱臼、ねんざなどのケガの施術を行える数少ない資格です。また、資格取得後は接骨院などを独立開業できることも大きな魅力です。本校では、授業+αでスポーツの知識を身に付けることができる、多職種連携授業を行っております。卒業後はスポーツ現場で働くことも可能です。

業界で活躍する  
柔道整復科の卒業生

# 1,507名

2007~2024年度卒業生実績

開校以来、毎年多くの卒業生を輩出！  
整骨院や整形外科、福祉施設など  
様々な分野で活躍しています。



京都医健  
スポーツ現場力  
アカデミー

# KISA



あなたの目指す未来に“スポーツ現場力”をプラス



柔道整復科

スポーツ現場力

スポーツ選手「ケガに強い」

柔道整復師

### 医療に+αで美容が学べる

トータルビューティー科の先生から直接美容  
について学ぶことができ、フェイシャルエステ  
の資格取得も目指すことができます。



京都で唯一！

京都府  
柔道整復師協会  
主催の

## 保険講習会

を学内で開催！



滋慶学園 総長杯 柔道大会

# 12連覇達成



鍼灸科

午前集中コース  
スポーツ美容コース

3年制

理学療法科

昼間  
スポーツ理学療法コース

4年制

作業療法科

4年制

言語聴覚科

4年制

※2026年4月設置予定

スポーツ科学科

3年制

※2026年4月設置予定

スポーツマネジメント  
テクノロジー科

4年制

美容師科

2年制

トータルビューティー科

2年制

視能訓練科

3年制

社会福祉科

1年制

夜間  
※大卒者等対象

精神保健福祉科

1年制

夜間  
※大卒者等対象

20th  
KYOTO IKEN  
ANNIVERSARY

2025年、京都医健専門学校は20周年を迎えました。

# 医健KEN 京都医健専門学校

フリーダイヤル  
0120-448-808

ケータイ  
からも  
OK!

Eメール info@kyoto-iken.ac.jp

京都医健

で 検索

HPはコチラから



〒604-8203 京都市中京区衣棚町51-2

# 目 次

●	新年のご挨拶 .....	会 長 林 啓 史 .....	3
●	新年のご挨拶 .....	公益社団法人日本柔道整復師会会長 長尾淳彦 .....	4
●	新年のご挨拶 .....	京都府知事 西脇隆俊 .....	5
●	新年のご挨拶 .....	京都市長 松井孝治 .....	6
●	新年のご挨拶 .....	京都府医師会会長 松井道宣 .....	7
●	新年のご挨拶 .....	衆議院議員 勝目 康 .....	8
●	新年のご挨拶 .....	衆議院議員 本田太郎 .....	9
●	新年のご挨拶 .....	参議院議員 西田昌司 .....	10
●	新年のご挨拶 .....	参議院議員 吉井 章 .....	11
●	新年のご挨拶 .....	元衆議院議長 伊吹文明 .....	12
●	新年のご挨拶 .....	京都府議会議員 田中英夫 .....	13
●	新年のご挨拶 .....	京都市会議員 橋村芳和 .....	14
●	新年のご挨拶 .....	筆頭副会長 岡田達也 .....	15
●	新年のご挨拶 .....	副会長 中村英弘 .....	16
●	新年のご挨拶 .....	副会長 今井雅浩 .....	17
●	新年のご挨拶 .....	経理部長 細川義昭 .....	18
●	新年のご挨拶 .....	事業部長 兼田旭紘 .....	19
●	新年のご挨拶 .....	外部理事弁護士 薦田純一 .....	20
●	新年のご挨拶 .....	監事 多賀裕展 .....	21
●	新年のご挨拶 .....	外部監事税理士 田川 裕 .....	22
●	新年のご挨拶 .....	社会保険労務士 園 香代子 .....	23
●	新年のご挨拶 .....	伏見地域介護予防推進センター長 林 啓 史 .....	24
●	新年のご挨拶 .....	京都府柔道整復師協同組合理事長 長尾淳彦 .....	25
✿	令和7年度第1回京都府補助金事業「運動器疾患対応力向上実施事業」 運動療法ワークショップ・学術セミナー .....		26
✿	令和7年度第2回京都府補助金事業「運動器疾患対応力向上実施事業」 保険講習会・第83回京都接骨学会 .....		28
✿	第48回近畿学術大会 兵庫大会 .....		30
✿	令和7年度京都府総合防災訓練 .....		32

✿ 文部科学大臣杯争奪 第34回日整全国少年柔道大会・第15回日整全国少年柔道『形』競技会 厚生労働大臣旗争奪 第44回日整全国柔道大会・第6回全国柔道整復師高段者大会	33
✿ 第17回日整近畿ブロック親善ゴルフ大会	34
✿ 令和7年度理事・支部長会議	35
✿ 令和7年度全体会議	36
✿ 救護報告 第37回市民スポーツフェスティバル … 左京支部 岡島 順	38
✿ 救護報告 松谷杯柔道大会 … 北丹支部 河原 巧	38
✿ 救護報告 第8回舞鶴赤れんが中学生柔道大会 … 北丹支部長 宮根保司	39
✿ 地域活動 北・上京会総会 懇親会 … 上京支部 西村太詞	39
✿ 第46回近畿ブロック柔道大会	40
📖 編集後記	40

## 表紙の写真

### 藤森神社本殿とクスノキ

伏見区にある藤森神社は約1800年前に神功皇后によって創建された古社で、御所から見て午の方角に位置し南方を守護するとともに、洛南深草の氏神として朝廷や公家、庶民に至るまで広く崇敬されていました。近年では「勝運と馬の社」として馬に関係する方や、午年生まれの方に信仰を集めています。

クスノキから抽出できる精油カンフル（樟脳）は血行促進作用や鎮痛作用、消炎作用、鎮痒作用、清涼感をあたえる作用などがあるために、主に痒みどめ、リップクリーム、湿布薬など外用医薬品の成分として使用されている馴染み深い樹木です。



# 新年のご挨拶

## 新年を寿ぎお祝いを申し上げます。



公益社団法人京都府柔道整復師会  
会長 林 啓 史

新年を寿ぎ謹んでお喜びを申し上げます。旧年中、会員の先生方には本会の公益社団法人として掲げた事業や計画をよくご理解され、その上会員としての任務を果たされました。心より感謝申し上げます。

旧年、総会において役員選挙が実施されました。監事立候補者は1名で投票による選挙はなく、理事には12名が立候補し得票と総会決議を得て6名の理事が、そして監事1名が信任を受け選任されました。

定款で規定されている役員選任方式がこの度、本会にとって“奇貨”をもたらしたと感じています。定款では会長を含める理事の定数は6名以上10名以内と定められていますが、過去長年にわたり立候補者数の都合により8名か9名で推移していました。今年度は外部理事に薦田弁護士、外部監事に田川税理士を委嘱

して新しいレジームが完成しました。

役員構成が確定しましたが、従来は会長プラス業務執行理事が8名のところ6名になり業務進捗に支障が出るのではないかと懸念された先生方もおられたと推察いたします。この結果に6名は一丸となって対応していこうと意欲満々でした。前執行部で前年度までの積年の課題を解決していく努力をして、ようやく光が見えてきた矢先に業務執行役員が2名も減少する現実にたいして、うまくいってほしい願望・欲望の裏返しとされる不安感があって当然です。

早速、6名で団結し全員が責任をもって本会運営をやろうと決意しました。事務局と各部業務の連携を見直し、特に総務部、経理部と事務局との業務分担のあり方を修正、再構築して有効性を増し効率化を推進させました。全体の業務も合理化を図り仕事の効率化、省力化を実現させました。部員・委員は数を増やすことなく、寧ろ減少させております。総務部員は1名、財務部員はゼロに、動画配信委員は6名のところ3名にしました。

「困難な状況に遭遇すると組織全体で一致団結し、乗り越えようと協力し合う環境を作ろうとするのが人間の普遍的な特性である。」と説かれています。その特性がいつでも出現し成功するとは限らず、多くの要因が関与するものと思えます。6名といえども価値観やベクトルが一致した上、肝胆相照らしてはじめて長い道のりを乗り越えて本領が発揮できるものです。

協調と共有には、他の部の業務をより理解させ、知識と関心が深まり、信頼関係が向上する。そして全役員の財務リテラシーも高くなり、理事会の審議において、レベルの高い議論と決議がなされることとなります。私はこの半期で、これを実感しております。ひとえに役員メンバーと事務局職員のやる気と努力の賜物であり潜在的能力の高さに驚きました。無干渉を排し、情報を共有し協調して事業を推進させるところが脆弱であったと認識することができました。本年は会にとって岐路です。一意専心を誓います。

収益事業を拡大強化して組織運営のリソースとなる資金の確保を目論みます。イノベーションの効ありで、9月30日付け中間決算の収支差額で450万円の改善があったことを報じて年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 新年のご挨拶



公益社団法人日本柔道整復師会  
会長 長尾 淳彦

新年あけましておめでとうございます。

新たな年の初めを迎え、皆様には健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

私が日本柔道整復師会の会長に就任してから言い続けてきた「柔道整復師は何を学び何が出来るのか」「接骨院・整骨院で患者さんにどのようなことをしているのか」「施術所（接骨院・整骨院）外でも国民に貢献出来るものは何なのか」を患者さんである「国民」、支払い側である「保険者」、国、都道府県、市区町村の「行政」、日本医師会をはじめとする「関連団体」、そして、柔道整復師、はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師の「仲間」に正しく伝え続けることが必要です。

私たちは黙っていても正しければ最終的には分かってもらえると思いがちです。「正しい」というものは揺ぎ無く存在するというのではなく常にせめぎ合いながら作られていくものと認識すべきです。また、「正しい」と分かってもそれを大切に扱ってくれるかの保証はありません。そうした中で私たちは常に「柔道整復」とは何か？を考え、「柔道整復」を広報し続けていかなければなりません。

## 連帯と協調

現在、就業柔道整復師は8万人、施術所は5万箇所を超えています。この集団を一つの方向に向かうためには、一人ひとりが同じような価値観を共有して、柔道整復という医療・文化を創りそれを継承していく努力が必要です。

信頼を持って協調していけば、調和や共通点を見出し相互の関係を友好的に強め、異なる立場や意見も共通の目的や利益を見出すことが出来ます。そして、新たなアイデアや解決策を生み出すことが出来ます。

業界、日整、都道府県社団、地域・支部での共通する明確な価値観を醸成していきたいものです。

京都社団の会員の皆様には今後とも業界、日整に対してご助言、ご協力を切にお願いいたしまして新年のご挨拶といたします。



## 未来に向けて輝き続ける京都づくりに挑戦



京都府知事 西脇隆俊

あけましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶（よろこ）び申し上げます。

昨年は、「大阪・関西万博」の開催を通じて、多くの方に京都の伝統から革新までさまざまな魅力に触れていただきました。また同時に、文化庁の京都移転から3年目を迎え、国と協力して新しい文化政策を京都から創り上げ、世界に向けて発信できたことにより、改めて、京都の文化力の奥深さを再認識する機会となりました。

「美しい花を咲かせ続けるには、停滞することなく、変化し続けなければならない」。これは、室町時代に能を大成した世阿弥（ぜあみ）が「風姿花伝（ふうしかでん）」に残した後人への心得です。当時の大衆芸能であった猿楽（さるがく）を磨き上げ、日本が世界に誇れる芸術である能へと昇華させていった世阿弥は、常に変化を恐れず進化していく努力の大切さを花に例えて説きました。千年の京都の歴史と文化も、そのときどきの先人たちが絶え間なく変化を繰り返して育てあげてきた、かけがえのない財産であり、国内外から多くの方が訪れる京都の魅力の源泉です。そして、時代の変化を柔軟に受け容（い）れ、常に技術の進歩を人々の幸せにしなやかに結び付ける文化と心根が、今も昔も京都でイノベーションを生み出し続ける原動力となっています。

本年は、こうした先人たちからの「贈りもの」を活かして、人と人との絆や京都府と府民の皆さまとの信頼関係を大切にしながら取り組んできた、京都府総合計画の最終年度を迎えます。全ての営みの土台となる安心を確かなものとし、府民の皆さまが、未来を担う子どもたちをあたたかく育みながら、将来に向かって夢を抱いていける、「あたたかい京都づくり」を実感いただけるよう、取り組んでまいります。

私たちが生きる現代は、人口減少・少子高齢化に加え、気候変動やAIによる技術革新など、大きな変革期にあります。先行きを見通せない今こそ、京都の魅力を支える府民の皆さまや京都を訪れる多彩な人材と共に、先人から引き継いだ京都の魅力の源泉を磨き上げてまいります。そして、今年の干支（えと）「午（うま）」が象徴する、飛躍し、力強く前進する馬の如く、直面する課題を一つずつ乗り越えながら、前へ前へと絶えず成長を続ける、輝き続ける京都を実現してまいりたいと考えております。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

## 市長年頭あいさつ ～京都の理想の実現に向けて歩み出す一年に～



京都市長 松井孝治

あけまして、おめでとうございます。

京都府柔道整復師会の皆様にとって素晴らしい一年となりますことを、心からお祈りいたします。

さて、昨年末に、京都が千年以上にわたり継承してきた自然、歴史、文化などの「まち柄」を確認し、世界と日本、そして京都の現状を踏まえ、2050年を展望した京都のまちの羅針盤となる「京都基本構想」を策定しました。この構想は、京都の各分野を代表する方々、高校生や大学生をはじめ、25年後の京都でオピニオンリーダーになるような若い方々など多くの市民の皆様と、京都のまちが未来に向けて何を大切にすべきかについて意見を出し合い、議論を重ねた結晶です。

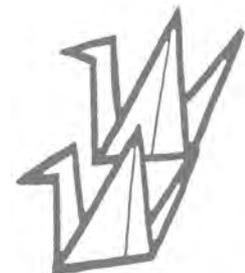
今後はこの構想の理念や価値観を抛り所に、「新京都市戦略」を改定するなど、具体的な政策を展開していかなければなりません。

京都では長い都市の歴史の中で、祇園祭をはじめとする年中行事や、人間の極致を体現する伝統産業や芸能、そして自然と共生する暮らしの文化が育まれてきました。これらを支えてきたのが、文化芸術、学問、産業、歴史、スポーツ、地域活動など、京都のあらゆる分野で技藝や技能を有し、人を惹きつける磁力を持つ方々、いわば「京都学藝衆」です。これらの方々の技や経験、想いを次の世代へと大切に伝えていくことが地域や国内外の人々から愛される唯一無二の価値を持つ京都の未来につながります。

京都市といたしましても、公園や図書館といった公共空間をもっと市民の皆様を開き、未来を担う子どもたちや若者が、市井に息づく豊かな知恵や学藝に触れる機会を創出し、「夢中」と「感動」が溢れるまちを実現してまいります。

そして、文化芸術、ものづくり、自治の伝統など京都の強みを生かし、若者の起業支援や新産業の創出、企業誘致などの取組を推進し、多彩な人々が交ざり合い、新たな価値を創造し、日本中、世界中の人々から、住みたい、働きたい、活躍したいと思われ、選ばれるまちを目指して様々なチャレンジを重ねてまいります。

新たな四半世紀に向けたスタートとなる今年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。物事を力強く前進する意味が込められています。様々な課題を乗り越え、今日の京都の発展を築いてこられた先人の心意気を大切に、誰もが幸せを感じ、互いにつながり、支え合い、生きがいを持って活躍できる。そのような京都の理想の実現に向け、力強い一歩を踏み出してまいります。



# 新年のご挨拶



一般社団法人京都府医師会  
会長 松井道宣

明けましておめでとうございます。

公益社団法人京都府柔道整復師会の皆様におかれましては、ご健勝にて新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より、府民の健康増進に寄与し、柔道整復師の資質向上、生涯教育など様々な面においてご尽力されておられますことに、深甚なる敬意を表する次第です。

さて、我が国は、世界に類を見ないスピードで高齢化が進行しており、医療・介護・福祉の連携がこれまで以上に求められる時代に突入しております。高齢者の生活の質（QOL）を維持・向上させるためには、急性期医療だけでなく、慢性疾患への対応、機能回復、

予防的支援などが不可欠となっています。

このような中、柔道整復師としての施術や地域に根ざした健康支援活動は、高齢者の自立支援と介護予防において極めて重要な役割を果たしております。医療と介護の狭間を埋める存在として、柔道整復師の専門性が今後ますます求められることとなります。

一方で、社会保障費の増大と限られた財源という現実の中で、医療制度の持続可能性をいかに確保するかは、我々医療界全体にとって喫緊の課題であり、国民的な議論が求められる局面にあります。医療は単なる支出ではなく、国民が安心して安全に暮らすための社会の基盤であり、健全な医療体制の維持は国家の根幹を支えるものであり、医療関係者が一丸となって取り組んでいかなければなりません。

京都府医師会といたしましては、貴会をはじめとする医療関係団体との更なる連携強化を図り、医療・介護・福祉の発展に尽くしてまいりたいと考えておりますので、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、貴会の今後のますますのご発展とご活躍をご期待申し上げますとともに、本年が会員の皆様方にとって良き一年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



# 新年のご挨拶



京都府柔道整復師会 顧問  
衆議院議員 勝目 康

明けましておめでとうございます。

旧年は、林啓史会長はじめ京都府柔道整復師会の先生方には大変お世話になり有り難うございました。

少子高齢化がさらに進展する中で、社会保障の持続性確保はこれまで以上に重要な政策課題となっております。とりわけ、現役世代にとって保険料が暮らしに大きな負担となっているとの声も大きく、その抑制を図る必要があります。他方で、医療提供体制が確保されなければ、親世代の面倒をみる現役世代にケアラーとしての負担が重くのしかかり、仕事や子育てどころでない状況を生み出しかねません。この両立という難しい調整を図る必要がありますが、その前提として重要なことが二点あります。

一点目は経済成長です。現役世代の皆さんの給料が上がれば、保険料率を上げずとも、保険料収入も増加し、保険財政は安定化します。デフレ経済下での縮小一辺倒から環境が大きく変化していることを認識する必要があります。

二点目は社会全体の健康増進です。このためには、①検診率の向上等による早期発見早期治療によって、より高額な医療に係る前に対処する、②仕事との両立支援を促進する、③特に急性期後のリハビリを重視することで社会復帰に繋がる予後管理を行う、など「社会に繋げる医療」により、医療需要そのものを抑制していくことも必要です。

先生方の施術はまさに二点目に大きく寄与するものと考えており、まずは補正予算による重点支援交付金を通じた施術所へのサポート等業務環境の整備に取り組んで参ります。

先生方の幸多き新年を祈念し、併せ本年もご厚誼賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げ、新年のご挨拶とします。



# 新年のご挨拶



京都府柔道整復師会 顧問  
自由民主党京都府支部連合会 会長  
衆議院議員 **本 田 太 郎**

新年あけましておめでとうございます。

公益社団法人京都府柔道整復師会の皆様におかれましては、輝かしい令和八年の新春を健やかにご迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、わが国における柔道整復術の発展と、国民の皆様の健康増進に多大なるご尽力を賜り、心より敬意を表しますとともに、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、柔道整復師業界を取り巻く環境は、オンライン資格確認の本格的な導入、療養費の改定、そして国民の皆様の健康ニーズの多様化など、依然として大きな変革期にございました。貴会におかれましては、そうした社会情勢と業界の課題に対し、卓越した指導力と行動力をもって的確かつ迅速に対応され、京都府内の柔道整復師の皆様の施術環境の

整備と資質の向上に尽力されたご功績は、誠に多大なるものと存じます。特に、地域医療連携の推進や、学術研修会の充実を通じた専門性の深化は、他の都道府県の模範とすべきものであり、深く感銘を受けている次第でございます。

さて、新たな年を迎え、私を含め国民は柔道整復師会の皆様に対し、健康を支える専門職としてのご活躍を強く期待しております。少子高齢化、疾病構造の変化、そして頻発する自然災害など、社会の課題は山積しておりますが、これらに立ち向かい、柔道整復師が持つ徒手療法による機能回復への貢献という独自の価値をさらに高めていくことが求められております。

本年も、柔道整復師の専門性を活かし、地域医療の担い手としての役割がますます重要となることが予想されます。林会長におかれましては、引き続きその卓越したご見識とご経験をもって、業界の健全な発展と公益性の向上にご尽力賜りますようお願い申し上げます。

私も貴会との連携を一層深め、柔道整復師の社会的地位の向上と地域福祉への貢献に微力ながら努めてまいり所存です。

結びに、公益社団法人京都府柔道整復師会の益々のご発展と会員の皆様のより一層のご活躍とご健勝を心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



# 新年のご挨拶



京都府柔道整復師会 顧問  
自由民主党京都府支部連合会 会長  
参議院議員 西田 昌 司

新春の候、皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

公益社団法人 京都府柔道整復師会顧問として、林啓史会長をはじめ、京都府柔道整復師会の会員の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

令和8年、午年は「力強く大地を駆け、努力が実を結び、飛躍する年」とされております。皆様が本年も持てる力を存分に発揮され、さらなる前進を遂げられますことを、心より願っております。

昨年、日々の施術に加え、柔道大会等での救護活動や地域イベントへの参加を通じ、地域医療の発展と住民の安心に多大なるご貢献を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。

高齢化が進む中、柔道整復師の確かな知識と技術は、地域医療において欠かせない存在であり、予防・回復・生活支援の面でも重要な役割を担っております。

地域に密着した柔道整復の実践は、健康寿命の延伸にも大きく寄与するものと確信しております。医療制度の変化に柔軟に対応し、患者様の多様なニーズに応える新たな取り組みを進めていただくことを、心より期待しております。

本年も、研鑽を重ね、次代に即した挑戦を続けながら、府民の健康と福祉を支える力強い担い手として、さらなる飛躍を遂げられますようお願い申し上げます。とりわけ若手会員の皆様の積極的な学びと挑戦が、未来の地域医療を支える礎となることを確信しております。今後のさらなるご飛躍を心より祈念申し上げます。

私も地元京都の国会議員として、国政の場において皆様の活動を力強く後押しし、府民が安心して暮らせる社会の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

結びに、令和8年が皆様にとって希望に満ちた飛躍の年となり、公益社団法人京都府柔道整復師会の益々のご隆盛と、会員の皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。



# 新年のご挨拶



京都府柔道整復師会 顧問  
参議院議員 吉井 章

新年あけましておめでとうございます。公益社団法人京都府柔道整復師会の皆さまにおかれましては、輝かしい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より、林啓史会長をはじめとする京都府柔道整復師会の会員の皆さまにおかれましては、「医療」「介護」「福祉」「救護」「スポーツ」などの分野において、会員の先生方の丁寧な施術によりまして、京都府民の皆さまが、健康的で生き活きとした日常生活を送れるよう、日々研鑽を積み、各種講習会の実施やスポーツフェスティバルにおける救急救護隊の派遣、柔道を通じた青少年の健全な育成を目指す幅広い社会貢献活動などにも多大なるご尽力をいただいておりますことに深甚なる敬意と感謝の意を表します。

京都府選出の国会議員として、先ずは地域の声を国に届ける。そして、わが国の歴史と伝統を胸に、自分たちの国は自分たちで守るという強い信念のもとに、外交・安全保障政策の構築をはじめ、今こそ、国民の皆さまが安心安全な生活ができますよう全力を投入して参ります。

また、本年は丙午の年で、情熱や行動力が高まり、勢いのある年とし、京都府柔道整復師会の皆さまが、安心して患者さんと向き合っていただけるような施策の充実を図り、今後も力を尽くして参りますので、引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げますとともに、公益社団法人京都府柔道整復師会の今後益々のご発展と、会員の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



# 新年のご挨拶



京都府柔道整復師会 顧問  
元衆議院議長 伊吹文明

新年明けましておめでとうございます。

京都府柔道整復師会の先生方には、今年がおだやかな良き年であることをお祈りし、変わらぬご厚誼をお願い申し上げます。

終りの見えないウクライナでの戦争、先行き不透明な中東紛争等、世界では主役が人間である故のごう業のような争いが続いています。業といえば目に見える戦争ではなくとも、科学がもたらす便利さ、快適さをむさぼり盡さねば我慢できない人間の業故の温暖化・異常気象、自国の利益のみを求める自国第一主義による世界の秩序の崩壊が憂慮されます。

日本でも昨年末に高市新内閣が発足しましたが、衆参両院で過半数を持たない歴史上初めての自民党内閣で、それだけに与野党を含め全ての政党が国の意思決定に責任を持っているとの自覚の下に、党利党略の業を捨て、国の安全と国民の日常の為に整合性のある政治的意思決定をしてくれることを祈るばかりです。

国内でも国際社会でも、指導者に求められているのは目先の選挙や損得だけでなく、将来の展望であり、自分や自国のことだけでなく属する組織、地域、世界、人類の発展でしょう。それを生み出すのは私達一人ひとりの意識覚醒だと思います。後輩の政治家の皆さんに願うことは、順法精神は当然のことですが、法で許されても我慢する規範意識を忘れずに、政策以前の失敗による政治の混乱で国民生活を混乱させぬよう活動してほしいということです。

今年は診療報酬改定の年です。多くの先生方は公的保険制度を基盤に日常の診療をされていると思います。先生方が安心して患者の方々に充実した施術を行えるよう、日整とも意思疎通を充分に行ない、今春の療養費改定に対応していきたいと思います。

結びに、京都府柔道整復師会の今年のご発展と先生方のご健勝をお祈りします。

年変わり 変わらぬものを 極めたし



## 新年のご挨拶



京都府柔道整復師会 顧問  
京都府議会議員 **田中英夫**

新年あけましておめでとうございます。

林 啓史会長様をはじめ公益社団法人京都府柔道整復師会の会員の先生方には、令和8年の初春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

京柔整の先生方には、柔道整復師として日頃より研鑽を積み、確かな知識と施術により患者さんの身体のみならず心の治療にも専心いただいておりますこと、又併せまして住民皆様との様々なご交流の中で、それぞれの地域の中での地域コミュニティの向上にご貢献いただいておりますことに深い敬意と感謝を捧げます。

又、京都府柔道整復師会の先生方におかれましては、林会長が一昨年会長にご就任され、併せて社団法人70周年の記念すべき節目を祝われ、又、昨年よりは、会長として改めてご選任されご就任の中で、役員としての覚悟と共に会員皆様一致結束して業界及び会の発展向上へと邁進しようとの方針のもと、日々ご精励いただいておりますことに敬意を表しますとともに、今後より一層の会員増強にも取り組まれ、柔道整復師会としては元より地域社会へのご貢献の面でも益々の力強い礎石を築かれますよう心より祈念いたします。

結びにあたり、京都府柔道整復師会の力強い歩みと今後益々のご隆盛を祈念申し上げますとともに、会員先生方には今年もご健勝にて日々お過ごしいただき、本年一年が皆様にとって最良の年となりますよう、併せて公益社団法人京都府柔道整復師会の力強い歩みと一層のご発展、並びに先生方のご繁栄をお祈りし、新年のごあいさつといたします。



# 新年のご挨拶



京都府柔道整復師会 顧問  
京都市会議員 橋村 芳和

新年あけましておめでとうございます。

皆様には輝かしい新年をお迎えされましたことを心からお慶び申し上げます。

京都府柔道整復師会におかれましては、一昨年の公益社団法人設立 70 周年、協同組合設立 35 周年の大きな節目を契機に、長尾淳彦会長（公益社団法人日本柔道整復師会会長）の後任として会長に就任されました林啓史会長が、強力なリーダーシップを発揮され、柔道整復師会を取り巻く諸課題の改善に着実に取り組み、今後益々のご活躍が期待されております。

先生方におかれましては、日本が世界に誇る伝統ある柔道整復を通じて市民の健康の増進のため、日々従事され、そのご活躍に感謝申し上げます。近年は健康長寿が大きく叫ばれる時代にあって、その社会的使命はより重要になっております。また、日整の少年柔道大会を通して、青少年の健全育成にも取り組まれておりますことにも敬意を表しますとともに、一層のご尽力をお願い申し上げます。

また、昨年 7 月の参議院選挙におきましては、自民党に強い逆風が吹くなか、西田昌司参議院議員が 4 期目の当選を果たすことができました。会員の皆さまのご支援に心より御礼申し上げます。

思い返せば平成 3 年の初当選以来、8 期 31 年間にわたり、京都市政の発展と私の地元である伏見区の躍進のため、京都市会議員として仕事をさせていただいておりますことも、林啓史会長はじめ、会員の皆様の温かいご支援とご指導のおかげであると強く実感致しております。重ねて厚く御礼申し上げます。

来る 2 月には、令和 8 年度の予算を審議する定例会が開会致します。私が団長をつとめさせて頂いております自民党京都市会議員団の議論により、日頃より皆様からいただいておりますお声をしっかり市政に反映をし、福祉と医療の先進都市京都の実現のため全力を尽くして参ります。

今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

結びに、京都府柔道整復師会の益々のご発展と皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。



# 新年のご挨拶



総務部長・広報部長  
筆頭副会長 岡田 達也

新春の候、皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より本会活動にご協力頂き誠にありがとうございます。

さて、昨年6月15日の定時総会にて役員改選が行われ、林 啓史会長の下、新執行部が発足しました。筆頭副会長を拝命し、総務部と広報部を兼務する事を命じられました。

コロナ禍からの脱却後も世界各地での戦争や紛争、物価高、令和の米騒動と会員をはじめご家族や患者様は大変厳しい生活となっている中であります。本会におきましても退会会員の増加及び療養費取り扱い件数の減少で会費収入が落ち込んでおり、事業収支が赤字転落しています。若年会員よりも高齢会員が多い、いわゆる逆ピラミッド構成となってきております。これは、長年にわたり本会にご協力いただいている会員の皆様の存在を示すものであり、深く感謝申し上げます。一方で、この構成比率が続くことにより、今後さらに厳しい財政状況が予測さ

れます。こうした状況を打破するために、若年会員の取り込みを含む会員増強活動をはじめ、既存の収益事業の発展や事業の見直しを引き続き進めてまいります。加えて、新たな収益事業の獲得にも積極的に取り組んでまいります。

役員改選の立会い演説時にも申し上げましたが、私は歴史ある本会を守り、柔道整復を守る為に活動させていただきます。会を守るとは、会員あつての公益社団法人でありますので会員が安定した生活を過ごし、府民の健康が促進されることで本会が継続できると考えています。

日本の伝統医学として接骨又は整骨術が大正9年に柔道整復師制度として法制化されてからも様々な困難な状況を先人たちは乗り越えてこられました。それぞれの時代に適応しながら柔道整復師として活動されてきた事に敬意を払い、令和の時代には少子高齢社会や人口減少、生産人口の減少等の中で継続出来る本会を目指します。具体的には会費収入だけに依存せず、収益事業を発展させてまいります。

私が思うところに「人は精神のゆとりが無い状態では奉仕の精神は生まれません」。財政状況が逼迫している状況ではこれまでのような奉仕活動は困難であり、会員も本会活動への協力、本会も関係各所への協力は困難な状況ですが持続可能な明るい未来を願い、年頭にあたり本年の抱負をお伝えさせて頂き新年のご挨拶とさせていただきます。



# 新年のご挨拶



副会長・保険部長 中村英弘

新年あけましておめでとうございます。

会員の先生方、ご家族の皆様、関係各位におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、本会及び保険部の事業運営に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、世の中の物価高騰や人件費の上昇により、病院や介護施設、介護事業者の経営状態が悪化しているという報道がよく目に留まります。

私たち接骨院の経営も同様で、日々の経営コストや従業員の人件費の増加により苦しい状況が続いています。この状況は、個人の問題だけではなく業界全体の問題であり、これをどのように回避して乗り越えていくかが課題となっております。

そのような中、日々の施術においては保険者からの一定の基準を超えていると思われる患者への調査や、受療制限につながる被保険者やその家族への働きかけもいまだ行われております。保険部としてはこのような状況を正確に把握し、スピーディーに対処していくことが使命

だと思っております。

また、保険者からの返戻に関しても、再請求ができるように対処法を探っております。具体的な取り組みとしては、保険者とのコミュニケーションを綿密に図り請求の内容などを説明することで保険者に理解してもらい支給されるための働きかけを日々行っております。

このように保険者との交渉や、公的審査会や保険者からの返戻に対して再請求をしていくためには、患者さんへの適切な問診や施術録への正確な記載が必要となってきます。いつもお伝えしていることではありますが、最終的に施術の事実を証明することが出来るのは、施術録しかないと言い切れるでしょう。

今後、電子請求への移行や電子カルテなどの使用が認められる時が来ると思います。しかし、現在は紙媒体の施術録において、受領委任に関する施術録とその他の施術に関する施術録を区別して整理し、受領委任に係る施術に関する施術録に遅滞なく記載したうえで、施術が完了した日から5年間の保存することが義務付けられています。

日々の施術・業務の中での一連の作業を正確に確実にを行うことで、患者さんからの信頼を獲得し安心して来院してもらえるようになると思っております。患者さんの痛みなどの苦痛を早く取り除き、日々の生活を健やかに過ごしていただくために、今後も私たちは日々研鑽を続けていくべきでしょう。そして保険制度を遵守することにより国民から必要とされる柔道整復師であり続けなければなりません。昨今の業界の難局を、執行部と会員の先生方と一丸となり乗り越えていければと考えております。

今年も先生方や関係各位のご協力をいただきながら業務を進めていきたいと思っております。

本会及び保険部の事業運営に格別のご支援を賜りますことをお願い申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

# 新年のご挨拶



学術部長・保険部副部長  
副会長 今井 雅 浩

希望に満ちた新年を心よりお慶び申し上げます。  
旧年中は、地域医療に献身的なご尽力を賜り深く感謝申し上げます。本年も皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、業界が社会から真に必要とされる専門職となるよう、邁進してまいる所存です。

## ・業界の根幹：二大要請と未来の目標

現代社会が柔道整復師に求めるものは、「コンプライアンスの遵守」と「エビデンスの構築」の二つです。

高齢化と社会保障体制変革の中で、「受領委任払い制度の維持」、患者負担の軽減を継続するためには、「不正請求の根絶」と我々の施術が「科学的根拠に基づく施術（EBM）」であると社会に認められる必要があります。経験則や主観的な判断から脱却し、客観的なデータと実績の積み重ねこそが、業界の未来を切り拓く鍵となります。

## ・専門性の拡大と明確な区分け

柔道整復師の業務は、「新鮮外傷」に留まらず、慢性痛、予防、健康増進、美容や審美といった多岐にわたる分野への展開が模索されています。

この業務拡大のため、会員の皆様には、「保険で施術できる範囲」と「自費施術になるもの」の区分けを明確にし、患者様へ誠実に説明することを徹底していただきたく存じます。これらの取り組みを症例報告という形で実績として積み重ねることで、保険適用範囲を時代に沿った形へ適応させていくための、強力な説得材料（基盤：ビッグデータ）となると確信しています。

## ・最重要課題：地域包括ケアシステム参画の意義

我々が果たすべき最も重要な使命の一つが、「地域包括ケアシステムへの参画」です。

これは、医師やリハビリ専門職が都心部に集中し、地域社会では不足するという「地域偏在」という大きな課題を、我々が解決できる存在だからです。柔道整復師は運動器の専門職として地域に根差し、即座にアクセスできる強みがあります。この強みを活かし、高齢者のロコモティブシンドローム対策やフレイル予防といった分野で活躍することは、「医療系、医業類似行為」という扱いから「医療」の一端を担う専門職としての存在意義を確立する絶好のチャンスなのです。

行政からの期待は高いにもかかわらず、スキルアップ講習への参加率が伸び悩む現状は憂慮すべき事態です。「自分には関係ない」と社会の課題から目を背けてしまう態度は、柔道整復の未来を自ら閉ざすことに他なりません。我々の敵は、外部の圧力ではなく、社会の課題に対する貢献を拒み、労を惜しむ姿勢にあるという危機感を、今こそ強く自覚すべきです。

## ・課題克服への具体的提言

### 1. エビデンス構築の第一歩：超音波エコー検査

経験知から科学的根拠へと転換するため、客観的評価を可能にする超音波エコー検査の活用を強く推奨します。厚生労働省は、施術に関わる判断の参考とするエコーは法令違反に当たらないと通知しています。エコー画像という客観的評価を加えることで、患者様の安心・得心が向上し、より適切な施術判断が可能になります。適切な判断に対する対価の徴収は正当なものであり、誠実な施術者は躊躇する必要はありません。

### 2. 療養費の適正化とDXへの対応

不正請求の根絶は、業界信頼回復の「絶対に譲れない一線」です。「外傷性が明らかなもの」のみ支給申請するというルールを徹底し、それ以外は自費施術を提案するか、適切な医療機関と連携を取るといった「ルールの理解と実践」を全ての柔道整復師に求めます。

また、医療DXは否が応でも実行されます。オンライン請求やコンピュータチェックの導入は、悪質な請求のできない健全な業界へと一夜にして変貌させます。デジタル化によるコスト削減だけでなく、適正化による信頼回復は、長期的には収入増加にもつながることを認識し、変革を前向きに取り組みましょう。

## ・結びに

2026年は、我々柔道整復師が専門性と社会貢献という二つの価値を地域に深く浸透させ、8万人、5万施術所が1つの勢力となることで、社会課題を解決し未来を守る、初めの1歩にしたいと考えます。

皆様の英知と行動が、業界の確固たる基盤を築くことを確信し、実り多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 新年のご挨拶



経理部長 細川 義昭

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、会員の先生方ならびにご家族の皆様におかれましては、京都府柔道整復師会の運営および諸活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。皆様のご支援に支えられ、本会は大きな歩みを進めることができました。

昨年6月には選挙が実施され、第二期林体制が新たにスタートいたしました。「信頼と協調」を基本理念に掲げ、理事6名がそれぞれの役割を担いながら、会員の皆様が安心して参加できる運営づくりを進めております。今後も開かれた会務運営を心がけ、より信頼される組織を目指して努力してまいります。

ご承知のとおり、柔道整復師業界は新型コロナウイルス感染症の影響により大きな打撃を受けました。施術所の経営環境も厳しい状況が続

き、当会の財政も約3割近くの減少を余儀なくされるなど、課題の多い期間となりました。

こうした困難な状況の中にあっても、理事・監事一同が一体となり、第一期林体制のもとで改革と回復に向けた取り組みを進めてまいりました。しかしながら、完全な回復にはもう一步の力が必要であり、本年を「新時代元年」と位置付け、さらなる発展を目指す所存です。そのためにも「信頼と協調」の理念を改めて共有し、会員皆様とともに歩みを進めてまいりたいと考えております。

私たち柔道整復師は、専門技術の向上はもちろん、医療に携わる者としての倫理観と責任感を持ち続けることが求められます。本会におきましても、超音波治療器に関する学習強化や保険講習会を通じた資質の向上、支部会・総会での円滑なコミュニケーション促進など、会員の皆様が共に学び成長できる場づくりを一層推進してまいります。

こうした取り組みを積み重ねることで、柔道整復師としての社会的評価を高め、組織としての魅力をより高めることが、本会運営の安定性を確立できるものと確信しております。経理部長として、これらの活動が円滑に進むよう、資金面・運営面からしっかりと支えてまいります。

結びに、本年が会員の皆様とご家族にとりまして、健やかで実り多い一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

# 新年のご挨拶



事業部長 兼 田 旭 紘

新春の候、皆様におかれましては、益々ご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は当会事業に対し格別のご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年も京都府柔道整復師会事業部では、各種活動を展開してまいりました。特に救護活動と少年柔道大会の運営は、当会の社会的に重要な取り組みとして、会員の皆様力を結集しながら進めてまいりました。

まず救護活動については、各地で開催された柔道大会や地域スポーツイベントへの救護隊派遣を通じて、地域住民の健康と安全を守る一翼を担いました。酷暑の中での活動や、予期せぬ怪我・体調不良に対応する現場では、会員一人ひとりが柔道整復師としての専門知識と冷静な判断力を発揮し、多くの方々から感謝の声をいただきました。これらの活動は、単に救護の枠を超え、地域社会における柔道整復師の信頼と存在価値を高めるものとなったと確信しております。

また、少年柔道大会の運営におきましても、多くの子どもたちが礼節を重んじ、仲間を思いやり、全力で取り組む姿を目の当たりにいたし

ました。柔道を通じて心身の鍛錬を重ねる青少年たちの成長は、まさに我々の原点であり、次世代への希望そのものです。大会運営にあたっては、安全管理の徹底を最優先に、救護体制の強化や大会運営マニュアルの見直しを進め、安心して参加できる環境づくりに努めてまいりました。会員の皆様や多くの関係者のご尽力により、無事に大会を終えることができましたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

一方で、社会全体が大きな転換期を迎える中、我々柔道整復師にも新たな課題が突きつけられています。高齢化の進展やスポーツ人口の多様化、さらには医療制度の変化に伴い、これまで以上に地域との連携やチーム医療の一員としての役割が求められています。救護活動も単なる応急対応にとどまらず、予防医療やリハビリテーションへの橋渡しとしての視点が必要です。その意味でも、柔道整復師が現場で得た経験やデータを共有し、科学的根拠に基づいた活動へと昇華させることが、今後の大きなテーマとなるでしょう。

本年は、これまで培ってきた実績を礎に、さらに一歩進んだ事業展開を目指してまいります。救護隊派遣では、若手会員の実践的な育成を進める予定です。柔道整復師として、そして柔道家として、「人を思いやり、人を支える」という精神を行動で示し続けることが、我々の責務であると考えております。

最後に、これまで当会の活動を支えてくださったすべての関係各位、地域の皆様、そして何より日々努力を惜しまぬ会員の皆様に、心からの感謝を申し上げます。本年も引き続き、京都府柔道整復師会事業部として「地域に根ざし、社会に信頼される柔道整復師会」を目指し、より一層の精進を重ねてまいります。

どうか本年も変わらぬご支援、ご指導のほど、よろしく願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

# 新年のご挨拶



京都府柔道整復師会 顧問  
外部理事 弁護士 薦田 純 一

新年明けましておめでとうございます。

会員の先生方やご家族をはじめスタッフの皆様が、共に健やかに新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。

さて、当職は、令和7年4月に「改正公益法人法」が施行されたのに伴い、「外部理事」に選任されました。この「外部理事」という制度は、以前の理事会は内部メンバーのみで構成されていましたが、第三者の視点から法人の経営や意思決定を監視し、法人の公正な運営が促進されることを期待して新たに設けられた制度であり、公益法人内部の透明性の向上とガバナンスの強化を目的としたものです。

これまでは外部監事として毎回理事会に出席してできる限りその職責を果たすべく努力してきましたが、本年度からは外部理事として引き続き全力でその職責を果たす所存です。

今年もなお厳しい世界的・経済的環境ですが、会員の先生方とも連携しながら、会員数の拡大に向けたホームページの活用やガバナンスの向上を図り、本会の業容の拡大に貢献できるように努力していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

また、会員の先生方や患者さんに対する「終活」への備えについても、一層強力に啓蒙活動を進めて行きたいと考えておりますので、是非その方面でもご協力をお願い致します。

昨今の世界情勢の変動や経済的環境の変化に取り残されること無く、今年も会員の先生方やスタッフの方々と一丸となって前進してゆくことを念願して、年頭のご挨拶に代えさせていただきます。

末筆になってしまいましたが、会員の先生方やご家族、スタッフの皆様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

以 上



# 新年のご挨拶



監事 多賀裕展

新年明けましておめでとうございます。会員の先生方ご家族の皆様には、健やかに新年をお迎えになられたこと、心よりお喜び申し上げます。

令和7年6月の定時総会にて皆様に信任頂き監事の職を務めさせて頂いております。

約20年、保険部と福祉部で、本会の仕事をさせて頂いておりましたが、監事職は初めてのことで色々と戸惑いながらも精一杯頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

去年は、参議院選挙が有り自民党が大苦戦を強いられ、石破内閣が解散、高市総裁誕生、公明党との連立離脱、日本維新の会との連立、高市内閣誕生と政界はめまぐるしく変化しました。また大阪・関西万博が開催され、当初は不

人気だろうと予想されましたが、蓋を開ければ大成功に終わりました。

我々を取り巻く環境は、物価は高騰するも賃金は上がり、急ピッチで変化を遂げようとしております。我々の業界も公定価格は物価高に対応せず、我々柔道整復師の高齢化の波は押し寄せて来ております。公定価格の引き上げは高市内閣の公約にも有り、是非とも期待したいところではあります。

また我々柔道整復師が、若者たちに魅力のある職業で有り、国民の皆様が必要とされるよう日々新しい知識や技術を研鑽し、いつでも患者さんに還元できる準備をしておくことが必要と思っております。その為にも、京都府柔道整復師会では、接骨学会、匠の技ワークショップ、近畿ブロック学術大会、保険講習会等、会員の先生方のお役に立てるイベントを開催しております。

監事の職務として重要な会議や各種行事に参加させて頂き、役員の業務執行及び財務状況を把握し、正しい運営のもと会員の皆様方の利益に繋がるよう、しっかりと見守りたいと思っております。

今後も会員、関係各位の皆様には、本会の発展にご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後に、2026年が皆様方に希望あふれ明るく幸福な年となりますよう心より祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 新年のご挨拶



京都府柔道整復師会 顧問  
外部監事 税理士 田川 裕

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかに新年を迎えられましたこととお喜び申し上げます。

昨年6月15日に開催されました令和7年度定時総会におきまして外部監事に就任いたしました税理士の田川裕です。平成28年度より本

会の税務顧問をさせて頂いております。

昨今、世界情勢が益々不安定となりロシアによるウクライナ侵攻や世界的な物価高、円安、地球温暖化、コロナの長期化などによる社会生活への影響が続いています。また、経済社会のグローバル化・デジタル化の進展等により税務行政を取り巻く環境も大きく変化しています。

このような状況化を乗り切るためには一丸となって進んで行かなければなりません。

近年、業界全般の不況により本会の財政状態も厳しい状態が続いています。この状況を改善するため理事会等におきまして最善策を検討しているところです。

今後は、微力ながら本会の発展のため理事会の参加を通して、会員の先生方と連携を密にし税務顧問、外部監事の職を全うする所存です。

新たな年を迎え、皆様方のご事業発展とご健康を祈願いたしまして、簡単ではございますが年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 新年のご挨拶



京都府柔道整復師会 顧問  
社会保険労務士 園 香代子

新年あけましておめでとうございます。

会員の先生方には新たな年を健やかに迎えられることとお喜び申し上げます。

令和7年4月1日付で、公益社団法人京都府柔道整復師会様の顧問社会保険労務士を拝命いたしました園香代子と申します。どうぞよろしく願いいたします。

平成26年に就業規則作成のご依頼をいただいていた以来、労働保険の申告手続きやスポットで

の労務相談などに携わってまいりましたが、今後は、継続的に労務管理全般に関与させていただけることとなり、改めて身の引き締まる思いでございます。

さて、令和7年度は、最低賃金の大幅な引き上げ、育児・介護休業法の改正により柔軟な働き方の制度導入が義務付けられるなど、企業には迅速な応が求められる一年でありました。

公益社団法人京都府柔道整復師会様におかれましても、就業規則及び育児介護休業規程を法改正に合わせて整備、施行いたしました。

物価高など、乗り越えていかなければならない課題は山積みですが、こうした厳しい環境下においてこそ、法令遵守はもとより、制度の適正な運用や職場環境の整備がより一層求められます。職員の皆様が安心して働き続けられる労務管理体制づくりに向けて、微力ながらお力添えできればと考えております。

結びに公益社団法人京都府柔道整復師会様、会員の先生方のさらなるご発展とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 新年のご挨拶



京都市伏見地域介護予防推進センター  
センター長 林 啓 史

会員の先生方には、輝かしい新年をお迎えになられ健やかに新春をおすごしのことと心よりお慶び申し上げます。

京都市伏見地域介護予防推進センターのご利用者様にはよく学び、実践しその効果を楽しみ、介護を必要とされない体作りを願望致します。

そして、推進センター事業委託者である京都市様には、引き続きご指導ご指示を、関係機関の皆様には、ご教示ご助力をいただきました事、大変感謝しております。令和8年もセンターの業務をゆるぎなく完遂させる決意しております。

先にも述べさせて頂きましたが、当センターは京都市の委託を受け伏見区内（深草・醍醐地域を除く）の65歳以上の方を対象とし、「介護を必要としない体作り」を目的に活動を進めています。運動や栄養及び口腔の実践的な教室を開催し多くの区民の方々にご参加いただいています。介護予防の重要性は高齢者人口の増加や

介護業界の人手不足など、様々な課題が顕著になる中で一層クローズアップされています。

また人生100年時代とも言われていますが、単なる寿命の延伸だけでは空しいものです。健康寿命を延伸し、それぞれの皆様が描くはつらつとした高齢期の暮らしをするには、日々の生活に運動を実践し、栄養摂取のために口腔機能を向上させ、気軽に外出し閉じこもりを防止することが最善策です。「運動・栄養と口腔・社会参加」はフレイル予防の3本柱です。これを基本にして多職種連携しながら教室の開催を行います。対象地域の住民の皆様にはセンターを大いに活用し、自立した自主グループの構築を目指して頂くことを熱望します。

当センターの職員は常勤5名のうち4名が柔道整復師であり、なかには養成学校の新卒採用や開業柔道整復師のセカンドキャリアとして就職をしていただいた事例もあります。本会が京都市から受託する意義は介護予防事業に寄与することであり、そのために契約以上の成果達成を目指し尽力するのは勿論のことです。柔道整復師の資質の向上と未来形成を考えて事業運営を進めていることが第2の意義です。因みに、京都市から委託された本介護予防推進事業は、公益事業として分類されており、国民の介護予防という社会性が濃厚な事業であると認識しております。そして、公益性がとても高い事業でありながら、その対価として得られる収入は本会の財務上とても貴重なものです。会員の先生方には、当センター事業の全容を正しく理解・認知されることを切望して、令和8年午年を益々活躍しご活躍されますようご祈念申し上げます。

# 新年のご挨拶



京都府柔道整復師協同組合  
理事長 長尾 淳彦

新年あけましておめでとうございます。

新春にあたり謹んでご挨拶申し上げます。京都府柔道整復師協同組合業務の円滑な遂行のため、加盟業者の皆様をはじめ関係各位の皆様には多大なるご協力を賜り心より感謝申し上げます。

本協同組合は平成元年7月1日に京都府からの認可を受けて設立されました。組合員は柔道整復術を行う接骨院・整骨院を営む国家資格を持った柔道整復師とその関係者で構成されています。

京都府中小企業団体中央会の中でも組合員数、事業規模はトップクラスを誇ります。

先にも述べた通り、京都府柔道整復師協同組合が設立されて本年で40年の年月が経ち、蓄積されたノウハウとシステムは膨大で貴重なものです。

しかし、年数とノウハウは積み重ねましたがそれを有効活用出来ておりません。

今後は、これを有効に活かして再構築してフル活動させなければなりません。

具体的展開として、

1. 共同購買のさらなる優位性を活かしての良いものを適正価で簡単に購入できるシステムの構築。
2. 銀行とのタイアップによる施術所経営の資金的バックアップや経営診断やアドバイスなど。
3. 組合員間の施術所移転や継承の仲介。
4. 勤務柔道整復師や研修施設の斡旋。
5. 生命保険、傷害保険、損害賠償保険の充実した取扱い
6. 学術研鑽のための研修会やセミナーの開催
7. 養成施設臨床実習地、勤務柔道整復師の研修施設の紹介斡旋。
8. 人間ドックなどの福利厚生に関する照会斡旋。

また、施術所に関わるものだけでなく、生活全般において必要な商品やサービスも提供できるようにしたいと思っております。

今回の有機米の販売も組合員の生活安定の一つです。是非、ご購入ください。

結びに京都府柔道整復師協同組合組合員並びに関係していただいている皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ新年の挨拶といたします。

# 運動療法ワークショップ・学術セミナー

## 令和7年度第1回京都府補助金事業「運動器疾患対応力向上実施事業」

令和7年9月14日(日)午後1時から、令和7年度京都府補助金事業第1回「運動器疾患対応力向上実施事業」が京都府柔道整復師会館2階ホール及びLIVE配信にて開催されました。

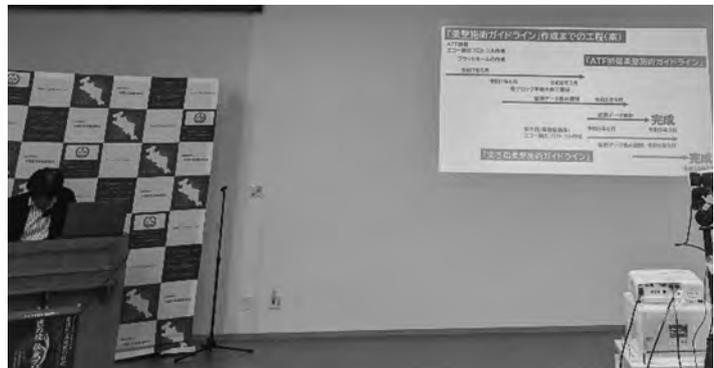
司会の今井 雅浩 学術部長による開会アナウンスで始まり、林 啓史 会長の挨拶がありました。

次いで、今井 雅浩 学術部長が学術部からのお知らせとして「柔道整復施術ガイドライン作成に向けて～」の説明がありました。

午後1時35分から、運動療法ワークショップ vol.3 が、饒平名智哉 学術主任の講師紹介

により始まりました。今回も株式会社 Y-TRAINING から村上 幸史 先生をお招きし、沢山のアスリートの助手の方々と共に腹圧の重要性について講義と実技を研修しました。木村 高成 学術部員と久見 達也 学術部員にコーディネーターとして参加と指導をしていただきました。

また、本会会員以外も多数参加され京都府の補助金を活用して、全柔道整復師の資質向上に繋がりました。府外では(公社)大阪府柔道整復師会 玉山 晋治 会長も熱心に受講されていました。



### 【講 師】村上 幸史 様

～講師プロフィール～

- ・愛媛県出身、日本大学卒業。陸上競技選手（専門：やり投げ）
- ・アテネ・北京・ロンドンオリンピック 3大会連続日本代表
- ・2009年ベルリン世界陸上競技選手権大会 銅メダリスト
- ・現在、株式会社 Y-TRAINING 指導責任者兼本部長



講師：村上 幸史 様とサポートスタッフの皆様



(公社) 京都府柔道整復師会 林会長と (公社) 大阪府柔道整復師会 玉山会長



午後3時30分から、「自費施術に使える最新の治療機器のデモンストレーション」が、長尾 裕次郎 学術部副部長の司会で始まりました。

講義内容は、機器の紹介と導入時の収入シミュレーションなどをしていただき、施術者としても、経営者としても今後の自費施術を考える良い機会でした。

【講 師】伊藤超短波(株)メディカル営業部大阪営業所 所長代理 松畑 宏謙 様

午後4時30分に今井 雅浩 学術部長の閉会のアナウンスで運動療法・学術セミナーは終了しました。学術部の先生方、講師の先生方の考えや指導を含め、大変為になる、有意義なセミナー開催に感謝します。

柔道整復師が京都府地域包括ケアシステムの一助となり、地域包括推進機構に参入できるよう、今後も実績を積み上げていきたいと思ひます。

# 第83回京都接骨学会・保険講習会

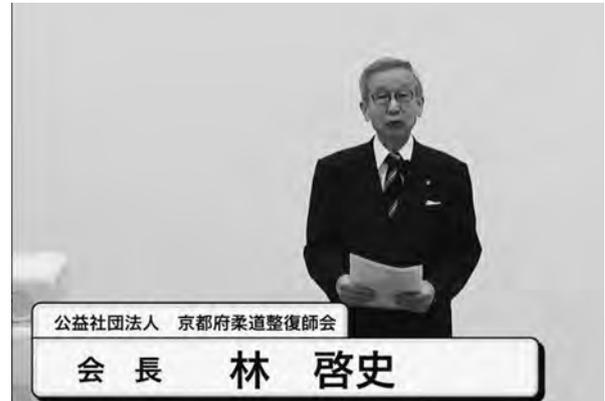
令和7年度第2回京都府補助金事業「運動器疾患対応力向上実施事業」

令和7年11月23日(日)午前10時30分から、第83回京都接骨学会・保険講習会（令和7年度第2回京都府補助金事業運動器疾患対応力向上実施事業）が京都府柔道整復師会館2階ホール及びオンラインによるライブ配信にて開催されました。

## 開会 午前10時30分

総司会を今井 雅浩 学術担当副会長が務め開会のアナウンスで始まりました。

はじめに、林 啓史 京都府柔道整復師会会長からの挨拶と、本学会の講演概要が発表されました。



## 保険講習会 午前10時35分

最初に今井 雅浩 副会長を講師として、「重点審査項目」の負傷原因・長期理由・長期頻回理由はどう見られるかについて説明がありました。

厳格なコンプライアンス遵守とエビデンスに基づく施術の必要性についても報告がありました。

次いで中村 英弘 副会長を講師として、「収入を増やす為の保険の知識と請求の仕方」について説明がありました。

また、施術録を記載する上での注意が必要な事項についても、お願いと報告がありました。



## 第83回京都接骨学会 午後1時

(令和7年度第2回運動器疾患対応力向上実施事業)

饒平名 智哉 学術主任の司会で、養成校発表4題の紹介と学術ガイダンスの進行を務められました。

### 養成校発表

「柔道大会における外傷救護の実態調査」

進藤 丈達 (明治国際医療大学)

「明治国際医療大学アスリートにおける傷害の実態」

箕浦 咲来 (明治国際医療大学)

「野球選手における投球側の2ndポジションの可動域と靭帯の関係性(第一節)」

梶卷 勇太 (明治国際医療大学)

「テーピングが着地動作における膝関節運動機能に及ぼす影響」

～三次元動作解析による下腿回旋運動の評価を中心に～

中川 美羽 (明治国際医療大学)

## 学術部ガイダンス

「謎の腰痛！これからの柔道整復師の取り組み方」 今井 雅浩 学術部長

## 表彰式

林 啓史 会長より養成校発表者4名への表彰状の授与がありました。

## 『超音波エコー観察講習会』ワークショップ 午後2時～

講演～チーム医療で通用する客観的評価の重要性。「エコー評価の進め方（実技）」  
(公社)滋賀県柔道整復師会学術部長 川戸 典知 先生



超音波エコーのワークショップとして、講義とグループ毎に実技演習がおこなわれました。

## 自費施術対応セミナー 午後3時30分～

「物理療法機器の活用法・スポーツリハビリ現場での実例紹介」

講師：伊藤超短波(株) 第一営業本部スポーツ事業推進統括 荒井 慧 様  
伊藤超短波(株) メディカル営業部大阪営業所 所長代理 松畑 宏謙 様



昨年度の日本柔道整復接骨医学会で最も高評価だった講演で非常に参考になりました。日頃使っている、物療機器の知識を臨床現場で活用するヒントになりました。

## 閉会式 午後4時45分

今井 雅浩学術部長の閉会アナウンスにて、第83回京都接骨学会・保険講習会は終了しました。今回も学術部の先生方、スタッフの皆様には大変為になる、セミナー開催に感謝申し上げます。

(広報部員 高山 祐治)

# 公益社団法人 日本柔道整復師会

## 第48回近畿学術大会 兵庫大会

令和7年10月26日公益社団法人日本柔道整復師会第48回近畿学術大会兵庫大会が神戸駅前研修センターにて開催されました。「自由な発想、独創性こそが未来を変えるブレークスルーを生み出す」を大会スローガンとして、現地会場とLIVE配信によるハイブリッド形式で行われました。

### 開会式

- ・【開会宣言】 公益社団法人日本柔道整復師会近畿ブロック会 会長 林 啓史
- ・【開会挨拶】 公益社団法人日本柔道整復師会 会長 長尾淳彦
- ・【主管県挨拶】 第48回近畿学術大会 兵庫大会実行 委員長 上田 篤

### 特別講演

『打撲・捻挫・肉離れ：スポーツ現場でよくある外傷の病態と対処法』

一育成年代における運動器診療の現状と問題点ー

兵庫県立加古川医療センター リハビリテーション科 部長 柳田博美 先生

### 学術教育部からのお願い

- ・匠の技伝承プロジェクトの意義等について

公益社団法人日本柔道整復師会 学術教育部長 徳山健司

- ・エコーを柔整師の手に

公益社団法人日本柔道整復師会 学術教育部 川戸典知

柔道整復術ガイドライン作成に向けて

- ・CARE ガイドラインに準拠した症例報告論文の書き方

公益社団法人京都府柔道整復師会 副会長(学術部長) 今井雅浩

- ・足関節外側靭帯損傷のエコー検査手順

公益社団法人滋賀県柔道整復師会 学術部長 川戸典知

以降、第Ⅰ会場と第Ⅱ会場で並行して発表が行われました。

- ・【第Ⅰ会場】日整「匠の技伝承」プロジェクトワークショップ及び近畿超音波委員会による「特別講演」
- ・【第Ⅱ会場】会員発表及び養成校発表（会員9演題・養成校5演題）

### 本会推薦の発表者

- ・「下腿骨果部骨折の1症例」 城陽支部 井坂 豊
- ・「膝蓋骨骨折の1症例」 中丹支部 山根文彦
- ・「柔道整復施術所の特徴を活かした腰部の痛みへのアプローチ（症例報告）」 左京支部 疋田訓寛
- ・「インターバル速歩が機能回復訓練に果たす役割」 明治国際医療大学（教員） 宗友宏行

## 表彰式・閉会式

- ・発表表彰者 6回発表
- ・近畿学術特別功労賞

城陽支部 井坂 豊  
前学術副部長 栗原武弘

(井坂 豊先生は90歳で尚、骨折の症例報告をされ、長尾日整会長より「柔整師の範」と会場にご紹介がありました。栗原武弘先生は病氣療養のため今年度退会されましたが、長年の近畿学術委員会での功績に対し表彰されました)

今大会も超音波観察装置に関する発表が多くみられ、これからの必要性を感じました。  
また、柔道整復師としての知識と技術を深める大会となりました。

養成校の学生の参加が例年より増え、熱意や活気を感じることができました。現在は学校の先生の引率で参加していると思われませんが、近い将来、自らの意思で学会に参加し、会員として発表するために学術大会へ戻ってきてくれることを願ってやみません。



# 令和7年度京都府総合防災訓練

救急救護隊隊長 兼 田 旭 紘

令和7年8月31日(日)午前10時から宮津市立栗田中学校北グラウンドを主会場として令和7年京都府総合防災訓練が行われました。訓練は8月31日未明から宮津市一带に局地的豪雨が発生、土砂崩れが発生するとともに、河川では氾濫危険水位を超過し床上浸水等が発生、一部住家が孤立しているという被害想定です。また、同日5時30分、直下型地震(郷村断層)が発生し、宮津市及び与謝野町で震度6弱、京丹後市及び伊根町で震度5強を観測。地震により宮津市等の住宅地で火災や建物倒壊が発生し救助が必要な被害想定です。

## 合同救護所訓練について

本会救護隊が参加した合同救護所訓練とは医療機関・消防・自衛隊等共同連携による被害者の救護活動、府内各病院のDMAT(13チーム)が参加し合同調整所運用訓練、土砂災害からの救出・救助訓練、座屈ビルからの救出・救助訓練、合同救護所訓練等が行われました。

本会救護隊からの参加会員は隊長：兼田事業部長(中京)、梅本事業部員(西京)、安達会員(右京)、中野賛助会員(右京)の4名で各災害現場からの救出者の応急処置、他の医療機関と連携しながら搬送対応を行いました。特に今回の訓練では搬送要員が不足している想定であったため担架による搬送が多く、体力的に過酷な訓練でした。災害現場ではあらゆる事に対応する必要性があり、医療機関だからと言って負傷者の処置だけをすることは限らず、臨機応変に判断し対応しなければならないと意識する訓練になりました。



訓練前のブリーフィング



参加会員

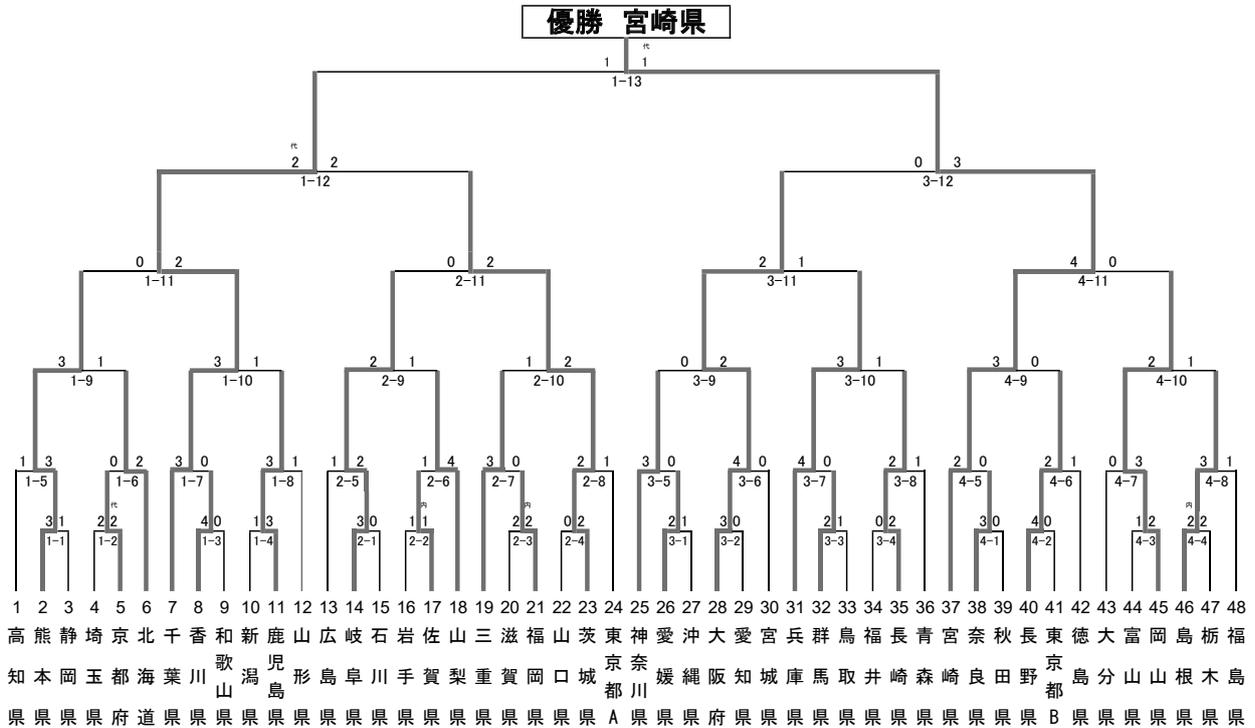
**文部科学大臣杯争奪**  
**第34回日整全国少年柔道大会**  
**第15回日整全国少年柔道『形』競技会**  
**厚生労働大臣旗争奪**  
**第44回日整全国柔道大会**  
**第6回全国柔道整復師高段者大会**

令和7年11月16日(日)、東京講道館において「文部科学大臣杯争奪 第34回日整全国少年柔道大会 第15回日整全国少年柔道『形』競技会 厚生労働大臣旗争奪 第44回日整全国柔道大会 第6回全国柔道整復師高段者大会」が行われました。京都府柔道整復師会から、林 啓史 会長、岡田 達也 副会長、兼田 旭紘 事業部長、山本 俊広 事業部主任が参加しました。京都府チームは1回戦埼玉県チーム相手に接戦の中、代表戦を制し2回戦に進出しましたが、北海道チームに惜しくも敗退しました。

結果は以下の通りです。

(日本柔道整復師会ホームページから引用)

### 第34回日整全国少年柔道大会試合結果



## 文部科学大臣杯争奪 第34回日整全国少年柔道大会

優勝	宮崎県
準優勝	千葉県
3位	茨城県
	大阪府
敢闘賞	熊本県
	岐阜県
	兵庫県
	岡山県
フェアプレー賞	高知県
	広島県
	愛知県
	福島県
優秀選手賞	山之内 晴 信(宮崎県)
	永 岡 諒 栄(宮崎県)
	服 部 藍之丞(千葉県)
	相 沢 咲太郎(茨城県)
	森 田 玖 皇(大阪府)

## 文部科学大臣杯争奪 第15回日整全国少年柔道「形」競技会

優勝	東京都
準優勝	兵庫県
3位	新潟県
4位	大阪府
5位	高知県
6位	滋賀県
7位	宮崎県
8位	岡山県

## 厚生労働大臣旗争奪 第44回日整全国柔道大会

優勝	四 国
準優勝	東 海
3位	九 州
	北信越

## 第6回全国柔道整復師高段者大会

優秀選手賞	五段の部	吉澤 賢 二(栃木県)
	〃	倉井 康 雄(栃木県)
	〃	刈屋 遵(栃木県)
	七段の部	中澤 伸 一(北海道)

## 活動報告

## 第17回日整近畿ブロック親善ゴルフ大会

第17回日整近畿ブロック親善ゴルフ大会が、令和7年9月21日、奈良県「奈良万葉カンツリー倶楽部」にて開催されました。本大会は、近畿1府4県の柔道整復師会に所属する会員が一堂に会し、盛大に行われる恒例行事です。

当日は天候にも恵まれ、公益社団法人奈良県柔道整復師会主管のもと、和やかな雰囲気の中で競技が繰り広げられました。大会は盛況のうちに、無事に終了いたしました。

〈団体戦の結果報告〉

1位 滋賀県、2位 兵庫県、3位 京都府、4位 和歌山県、5位 奈良県

参加された会員の皆様、誠にお疲れ様でした。次回の開催は和歌山県が主管となり、開催される予定です。本大会は競技を楽しむ場であるだけでなく、会員同士の親睦を図り交流の輪を広げる大切な機会です。次回もより多くの会員の皆様にご参加いただき、和気あいあいとした雰囲気の中で充実したひとときを過ごしていただければ幸いです。



# 令和7年度 理事支部長会議

令和7年9月14日(日)11時から京都府柔道整復師会館2階ホールにて、令和7年度理事支部長会議が開催されました。岡田 達也 総務部長の司会で進行され、林 啓史 会長の挨拶で始まりました。

順次、細川 義昭 経理部長、中村 英弘 保険部長、今井 雅浩 学術部長、兼田 旭紘 事業部長と報告され、最後に岡田 達也 総務部長兼広報部長から報告事項や依頼を伝えられました。



特に今井 雅浩 学術部長からは、京都府補助金事業として研修事業の継続、自費施術の導入拡大、療養費施術料金大幅改定に向けて学術大会や講習会への学生や若い柔道整復師の参加促進について説明がありました。

また、岡田 達也 総務部長兼広報部長からは、各種規定や規則の改定について、会員数増加について、収益事業について説明や今後の展望について説明がありました。

その後、各支部長からの質疑応答や要望について、執行部役員と意見交換を行い12時をもって令和7年度理事支部長会議は終了しました。

# 全体会議 開催

令和7年12月13(土)午後5時より、リーガロイヤルホテル京都2階「ルボア」において本会全体会議が開催されました。定刻になり、司会の岡田 達也 副会長により進行された。

以下に次第を掲載する。

## 1. 挨拶 会長 林 啓史

会長のご就任及び役員構成についての説明

本会運営について収益事業による改善された結果等についての説明

## 2. 各部報告

### 保険部長 中村 英弘

・ 施術録への正確な記載および整備についての説明

・ 自賠責保険と労災保険についての説明

### 学術部長 今井 雅浩

・ 保険講習会・第83回京都接骨学会のアンケート結果についての説明

・ 地域包括ケアシステム参画の意義についての説明

・ 京都府からの研修事業の目的とコンプライアンス遵守についての説明

### 事業部長 兼田 旭紘

・ 時間の都合の為、報告なし

### 経理部長 細川 義昭

・ 保険給付調査表についての説明

・ 当会財成の減少による経営状態についての説明

### 総務広報部長 岡田 達也

・ 本会職員への賞与不支給についての説明

・ 定額会費の値上げについての説明

・ 近畿ブロック互助会についての説明

・ 他にも多数の案件を資料にて説明

上記のような内容で各部より、業務状況等の報告がされた。

## 3. 支部会からの要望・質問等

職業団体として今後どうするのかの質問があり、返答された。



林 啓史 会長



岡田達也 総務広報部長



中村英弘 保険部長



今井雅浩 学術部長



細川義昭 経理部長



会場風景



会場風景

## 救護活動

# 『第37回市民スポーツフェスティバル 第72回京都市ソフトボール大会 第35回京都市壮年ソフトボール大会』 救護隊として参加

左京支部 岡 島 順

令和7年11月3日(日・祝)、当日は晴れていましたが、途中で雨となり、開会式は比叡山の麓にある左京区の岩倉東公園野球場にて行われました。午前8時40分より、大会名誉会長である松井 孝治市長から祝辞をいただきました。ちょうど北西の空に虹がかかり、大会を盛り上げました。一般・壮年、各11チームが午前9時より4試合場にて競技を開始しました。

### ○傷病発生状況

- ① Aグラウンドで外野フライを追いかけた際、外野手2名が衝突し、1名は胸部に顔面が当たり、もう1名は左顎を強打しました。頭部への影響が心配だったため安静を指示しましたが、意識は清明でした。(午前9時25分頃)
  - ② テント解体中、ポール付近で左第二指基節部に擦過傷を負いました。軽傷のため絆創膏で処置しました。(午後2時40分頃)
- 以上です。

最後になりましたが、試合開始後に雨のため途中中断しましたが、競技役員の方々がスポンジで水を吸い取り、さらにトンボでグラウンド整備を行い、何とか終了できました。職員の皆様、ご苦勞様でした。やはりスポーツをしている人は元気で身体が丈夫です。救護も2件のみで済み、午後4時30分頃に終了しました。

## 救護活動

# 「松谷杯柔道大会」救護活動報告

北丹支部 河 原 巧

10月26日(日)舞鶴市文化公園体育館にて開催された「松谷杯柔道大会」に救護スタッフ(村上由一、河原 巧)として参加した。今年は昨年より参加者が増加し、一般選手に加え県外からの高校生の出場も目立った。大会中は肩鎖関節捻挫、遠位橈尺関節捻挫、鼻出血、爪甲剥離症などの外傷が見られ、テーピングによる固定やシップ、圧迫止血の指導を行った。競技特性上、瞬発的な接触や転倒による外傷が多く、迅速な対応が求められた。

選手の安全を守るための支援ができたことにやりがいを感じるとともに、今後も的確な判断と処置ができるよう知識と技術の向上に努めたい。



## 救護活動

# 第8回舞鶴赤れんが中学生柔道大会

北丹支部長 宮根保司

令和7年11月16日舞鶴文化公園体育館にて、第8回舞鶴赤れんが中学生柔道大会が開催されました。救護に小野隊員、貞岡隊員が参加しました。

試合中、肘関節捻挫と足関節捻挫各1名があり、テーピング固定やアイシング等を施しました。

全国的にインフルエンザが流行していましたが、欠席者は比較的少なく、他に大きな外傷も無く大会は終始活気にあふれ、白熱した大会でした。



## 地域活動

# 北・上京会総会 懇親会

通信員 面村太詞

令和7年11月15日(土)午後5時30分～、ホテルオークラ京都金剛の間にて、北・上京会の総会・懇親会が開催されました。

相良 遼太 上京支部長の司会進行による開会の挨拶の後、口田 裕之 北支部長から本会の会員動静、会員数増加のための取り組み、会館の収益事業についての報告、推進センターについての報告、学術部からのお知らせ等の説明を受けました。

懇親会は柴田 宗宣 北支部会員の乾杯の御発声で開かれ、和やかな雰囲気の中ホテルオークラ京都の美味しい料理をいただき会員相互の親睦を深めました。



柴田 宗宣 北支部会員乾杯の挨拶



相良 遼太 上京支部長



口田 裕之 北支部長



懇親会の様子

# 第46回近畿ブロック柔道大会

令和7年7月27日(日)公益社団法人京都府柔道整復師会館2階ホールで第46回近畿ブロック柔道大会が開催されました。

一時コロナ禍により中止されていましたが、大阪府を除く近畿各府県会員の日頃の練習の成果を発揮すると共に、会員相互の親睦を図る良い機会となりました。

本大会は11月16日講道館で開催される日整大会の予選を兼ねています。京都府選手は惜しくも代表入りを果たせませんでした。中京支部 兼田 旭紘 会員が年代別選手権40代の部で第3位となり表彰を受けられました。

柔道整復師の根幹は柔道であります。次回開催には多くの参加を熱望致します。



## 編集後記

- 前任者から広報部を引継ぎ、ようやく発刊する事が出来ました。とても大変な作業が多数あり、歴史ある本会は先人たちの努力の積み重ねで今日があると更に認識する事が出来ました。なお、本紙はプライバシー保護や各人からの原稿を尊重する方針で編集しています。今後はデジタル化をしていきますので、ホームページやSNSを中心に発信し会報誌は年1回とします。  
(広報部長 岡田 達也)
- 限られた時間の中で広報としての仕事に向き合い、前任の先生方のご尽力の大きさを改めて感じました。広報に関わる皆さまには、さまざまなお力添えを頂き、本当にありがとうございました。私自身、多くのことを学び貴重な経験を積むことができましたこと、心より感謝申し上げます。今後も広報部のために少しでもお役に立てるよう努めて参ります。  
(広報部 高山 祐治)
- 今回の発刊にあたり、広報部の一員として多くの学びを得ることができました。日々の業務の中で、情報を届ける難しさと楽しさを実感しました。これからも会員の皆さまにとって有益な情報をお届けできるよう、工夫を重ねて参ります。引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。  
(広報部 井村 亮太)
- 

次号 しめ切り 11月30日

# 令和8年度京柔整カレンダー

レセ受付      理事会      ×休館日

**4月**

日	月	火	水	木	金	土
			1 レセ受付	2	3	4
5	6	7 審査会	8	9	10	11
12 ×	13	14	15	16	17	18 理事会
19 ×	20	21	22	23	24	25
26 ×	27	28 レセ受付	29 ×	30 レセ受付		

**5月**

日	月	火	水	木	金	土
					1 レセ受付	2
3 ×	4 ×	5 ×	6 レセ受付	7	8 審査会	9
10 ×	11	12	13	14	15	16 理事会
17 ×	18	19	20	21	22	23
24 ×	25 柔道大会	26	27	28	29	30 レセ受付
31 ×	24日：第38回日整全国少年柔道大会京都大会					
総会	24日：第12回日整全国少年柔道形競技会京都大会					
	31日：令和8年度定時総会・懇親会					

**6月**

日	月	火	水	木	金	土
	1 レセ受付	2	3	4	5	6
7 ×	8 審査会	9	10	11	12	13 理事会
14 ×	15	16	17	18	19	20
21 ×	22	23	24	25	26	27
28 ×	29 レセ受付	30				

**7月**

日	月	火	水	木	金	土
			1 レセ受付	2	3	4
5 レセ受付	6	7 審査会	8	9	10	11
12 ×	13	14	15	16	17	18 理事会
19 ×	20 ×	21	22	23	24	25
26 ×	27	28	29	30 レセ受付	31	
7月中：京都府柔道整復師夏季特別昇段審査会						
7月中：近畿ブロック柔道大会						

**8月**

日	月	火	水	木	金	土
						1 レセ受付
2 ×	3 レセ受付	4	5	6	7 審査会	8
9 ×	10	11	12	13	14	15 理事会
16 ×	17	18	19	20	21	22
23 ×	24	25	26	27	28	29
30 ×	31 レセ受付	8月中：京都府総合防災訓練（予定）				

**9月**

日	月	火	水	木	金	土
		1 レセ受付	2	3	4	5
6 ×	7	8 審査会	9	10	11	12 理事会
13 ×	14	15	16	17	18	19
20 ×	21 ×	22 ×	23 ×	24	25	26
27 ×	28	29 レセ受付	30			
9月中：京都府補助金事業（予定）						
9月中：令和8年度理事支部長会議（予定）						

**10月**

日	月	火	水	木	金	土
				1 レセ受付	2	3
4 ×	5 レセ受付	6	7 審査会	8	9	10 滋賀学会
11 ×	12 ×	13	14	15	16	17 理事会
18 ×	19	20	21	22	23	24
25 ×	26	27	28	29	30 レセ受付	31
10日：近畿ブロック学会滋賀大会開会式						
11日：近畿ブロック学会滋賀大会						

**11月**

日	月	火	水	木	金	土
1 ×	2 レセ受付	3 ×	4	5	6	7 審査会
8 ×	9	10	11	12	13	14 理事会
15 ×	16	17	18	19	20	21
22 ×	23 ×	24	25	26	27	28
29 ×	30 レセ受付					
11月中：接骨学会・保険講習会						
11月中：日整全国少年柔道大会・日整全国少年柔道形競技会						
11月中：日整全国柔道大会・日整全国高段者大会						

**12月**

日	月	火	水	木	金	土
		1 レセ受付	2	3	4	5
6 ×	7	8 審査会	9	10	11	12 理事会
13 ×	14	15	16	17	18	19
20 ×	21	22	23	24	25	26
27 ×	28	29 レセ受付	30 ×	31 ×		
12月中：全体会議						

**1月**

日	月	火	水	木	金	土
					1 ×	2 ×
3 ×	4 レセ受付	5	6	7 審査会	8	9
10 ×	11	12	13	14	15	16 理事会
17 ×	18	19	20	21	22	23
24 ×	25	26	27	28	29	30 レセ受付
31 ×	1月中：京都府柔道整復師冬季特別昇段審査会					

**2月**

日	月	火	水	木	金	土
	1 レセ受付	2	3	4	5	6
7 ×	8 審査会	9	10	11	12	13 理事会
14 ×	15	16	17	18	19	20
21 ×	22	23	24	25	26	27 レセ受付
28 ×						
2月中：接骨学会・保険講習会						

**3月**

日	月	火	水	木	金	土
	1 レセ受付	2	3	4	5	6
7 ×	8 審査会	9	10	11	12	13 理事会
14 ×	15	16	17	18	19	20
21 ×	22 ×	23	24	25	26	27
28 ×	29	30	31			

※行事等は変更される場合があります。



# スポーツ × 医療

「人の役に立ちたい」～その想いに答える学び～

◎日本スポーツ協会公認「アスレティックトレーナー(JSPO-AT)」資格が取得可能(2026年4月入学生より対象)

◎鍼灸師+柔道整復師のWライセンス取得を全面サポート ○中学・高校保健体育一種免許状取得可能 \*星槎大学との協定による(大学のみ)

こころ和らぐ医療を創造する

## 明治国際医療大学

〒629-0392 京都府南丹市日吉町

TEL 0771-72-1188(入試事務室) FAX 0771-72-1189

URL <https://www.meiji-u.ac.jp>



大学HPはコチラ!!

看護学部  
看護学科

保健医療学部  
救急救命学科  
柔道整復学科

鍼灸学部  
鍼灸学科

大学院  
鍼灸学 研究科  
保健医療学 研究科

2027年4月農学部食農エコロジー学科(仮称)設置構想中

誰かの支えになる喜び、アスリートを支える医療人へ

## 明治東洋医学院専門学校

〒564-0034 大阪府吹田市西御旅町 7-53

TEL 06-6381-3811 FAX 06-6381-3800

URL <https://www.meiji-s.ac.jp>



専門学校HPはコチラ!!

鍼灸学科 [医療専門課程3年制]

柔整学科 [医療専門課程3年制]

## 京柔整会報 機関誌 174号

令和8年1月20日

発行者 公益社団法人 京都府柔道整復師会

会長 林 啓史

編集責任者 広報部長 岡田 達也

発行所 京都市右京区西京極新明町6番地

☎ 京都(075)325-0414

(広報部)

印刷所 株式会社 幸伸

京都市下京区中堂寺庄ノ内町1-131

TEL.(075)314-2251

FAX.(075)314-5177

公益社団法人京都府柔道整復師会でも **導入率No.1**

# 接骨院・整骨院のレセコンなら 業界No.1の『三四郎くん』

柔道整復師向 事務管理システム

## 三四郎くん

導入実績  
10,000件以上!!



使い勝手の良い操作性はもちろん、療養費改正等にすばやく対応。迅速サポートで  
ご好評を頂いている『三四郎くん』は、常に  
進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。

## 《超音波観察装置》

骨・軟骨・筋・腱・靭帯などがリアルタイムに観察できます。



**SONIMAGE MX1**

医療機器認証番号：  
230ABBZX00010000  
製造販売元：コニカミノルタ株式会社

柔道整復師向け

詳しくは弊社にお問合せ下さい。



**Aplio air**

医療機器認証番号：  
306ACBZX00021000  
製造販売元：  
キヤノンメディカルシステムズ株式会社

**HS-2200**

医療機器認証番号：  
225AHBZX00034  
製造販売元：本多電子株式会社



## 保険請求



### 保険請求の“お悩み”ございませんか？

- ・相談したいけど誰にきいていいかわからない。
- ・実は保険の基本的な事が分かっていない。
- ・返戻がきたけど対応がわからない。
- ・保険改正の変更点などが分かっていない。

4つのメニューで解決策をご提案!

エス・エス・ビーのレセコンをお使いのお客様は無料でご利用いただけます。

#### SSB保険ニュース

保険の改定を分かりやすく解説!

#### 返戻知恵袋

実際にあった返戻の解決策をご提案!

#### 保険アカデミー

動画などで保険の基本が学べる!

#### 返戻対策キット

準備不足を解消!問診票や院内掲示物をダウンロードできる!



株式会社 エス・エス・ビー

ホームページはこちら▶

<https://www.sanshiro-net.co.jp/>



【関西営業所】〒532-0011

大阪市淀川区西中島4-13-24 花原第3ビル405号

TEL 06-6390-3462 / FAX 06-6390-3463

最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース  
<https://www.jusei-news.com>

